

本日、正午過ぎに日銀金融政策決定会合の結果が発表されました。

主な政策等については以下の通りとなります。

- ・政策金利を「0～0.1%」に据え置き
- ・国債買い入れ額の記述を削除
- ・24年度物価上昇率見通しを2.4%から2.8%に上方修正

等が決定されました。

また、日銀展望レポートでは、物価先行きについて25年度と26年度はおおむね2%程度で推移すること、基調物価が上昇すれば緩和度合いを調整するが、当面緩和的環境が継続すること等が示されました。

同政策発表直後は円売り、ドル買い反応となり、ドル円相場は発表前の約155.50円付近から一時156円台に上昇。ドル建て金は概ね2330ドル台前半でほぼ横ばいで推移しました。金標準取引は買いが優勢となり、一時11700円台を回復しております。

この後、15時30分より植田日銀総裁の記者会見が行われる予定です。